



農業

畜産業

食品加工業者

流通業者

飲食店

弁当惣菜店

# 人と環境に寄りそった野菜作り オリーブの会／勇川昌史

オリーブの会の野菜を食べるには…

関西よつ葉連絡会、岡崎マルシェ(第4土曜開催)、オリーブの会 直売所 など  
直売所(山科区東野) 営業時間:月～金 10:00～18:00(土日祝休み)



**DATA**  
**事業者名:**  
 社会福祉法人 オリーブの会  
**代表者:** 施設長 勇川昌史  
**所在地:** 京都市山科区東野  
**電話:** 075-591-4669  
**URL:** olive-net.info  
**主な生産物:**  
 季節の野菜(多品目)、加工品  
**主な出荷先:** 宅配、マルシェ

## ●社会福祉法人としての農業



山科区に、施設に通う人、スタッフの方、地域の人、多くの人の手が加わって大切に農作物が作られている農園があります。社会福祉法人オリーブの会の農園です。オリーブの会は精神障がい(統合失調症、躁鬱、発達障がい)の方々の就労支援施設で、地元の方にお手伝いいただきながら一緒に農作業を行い、そこで生産された野菜で加工品を作り、マルシェに出店し、子ども食堂に食材を提供し、高齢者への配食事業を行い、農園を基点に幅広い活動を行っています。

貸して下さる方、お漬物を漬けるのが上手なおばあちゃん、定年退職後農業をしたいと力を貸して下さる地元の方々、農機具を貸して下さる人。施設の利用者の方だけではできなかったことが、地域にある人的・物的資本がこの農園に集まり、多様性を認め合い、それぞれの得意分野をいかして、農産物や加工品ができています。

野菜は季節に合わせて旬の野菜を露地栽培で作っています。加工品も添加物は使わずに、昔ながらの製法で作っています。冬になると、大根切り干しや、干しいもは天日干しで丁寧に仕上げています。自然環境に負荷をかけずに、自然に寄り添った農業をすることを大切にしています。



に、自然に寄り添った農業をすることを大切にしています。

「農福連携」がキーワードとして取り上げられるようになりました。ただオリーブ農園の野菜は、農福連携で作った野菜ではなく、山科のおいしい無農薬・省農薬野菜としてみなさんに手に取ってほしい、と施設長の勇川さんは言います。オリーブ農園の野菜と加工品は、直営の店舗や、岡崎マルシェなど様々なイベント等で購入することができます。



## ●オリーブ農園の魅力

農園の運営には地域の方が様々な形で関わってくれています。使っていない農地を無償で

## ●農福連携より山科の無農薬・省農薬野菜

近年、農業と福祉の課題解決の方法として

**■オリーブの会 直売所**  
 京都市山科区東野中井ノ上町3-33  
 京都市営地下鉄東西線 東野駅 徒歩5分

KGPN  
 いちおし/ジモノ  
 オリーブの会  
 切り干し大根・畑のするめ  
 各200円



**切り干し大根:** 口に入れてだけで甘みが広がる切り干し大根は、料理に使うのはもちろんのこと、そのままおやつとして食べるのに最高です。

**畑のするめ:** 細切りのたくあんを乾燥させたもので、噛めば噛むほど自然の塩気が口の中に広がります。間食にもお酒のあてにもぴったりです。